



皆さまからの寄附をもとに 新川千本桜の復旧工事を行いました

元年に発生した台風では、新川千本桜にも多数の倒木被害が発生しましたが、2年7月から12月に実施したクラウドファンディングなど市民の皆さまからのご支援により、その一部の復旧工事を実施することができました。今回植栽した苗木に花が咲くようになるにはしばらく時間がかかりますが、今後の生育を温かく見守ってください。

お問い合わせは
公園緑地課
☎421-6778へ

3年度に実施した千本桜の復旧工事

平成13年度から始まった新川千本桜植栽事業では、市民からの寄附により苗木を植栽し、現在は、新川全域が桜の名所となっています。

今年度実施した復旧工事では、倒れた桜の撤去・抜根の後に土壌整備を行い、新川全体で29か所の補植を実施しました。

補植した桜の苗木はそれぞれ、ソメイヨシノ7本、陽光7本、河津桜15本です。

工事に要した費用約450万円は、クラウドファンディングで寄附いただいた139万円や株式会社東亜オイル興業所様他からの寄附により賄いました。

市では、新川千本桜が桜の名所として相応しい姿を取り戻すよう、今後も引き続き、復旧に向け取り組んでいきます。



▲台風で倒れた新川千本桜



▲補植した新川千本桜の苗木



◀メインとなる3品種の植栽エリア

新川千本桜では8品種の桜が植えられていますが、今回、復旧工事を実施した3品種をご紹介します。

1 ソメイヨシノ (染井吉野)

主に村上橋から大和田排水機場の間の新川東岸側に植えられています。3月中旬～3月下旬に見ごろを迎えます。エドヒガン（江戸彼岸）とオオシマザクラ（大島桜）が掛け合わさったものだと考えられています。

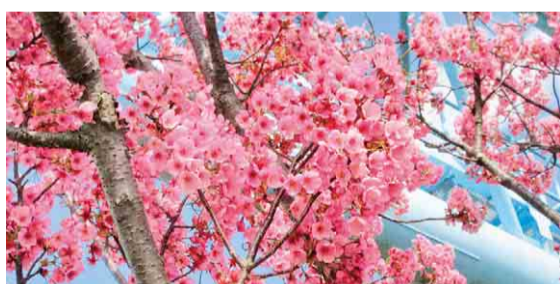
江戸時代末期に江戸の染井村から広まりはじめ、今では全国的に広まっています、サクラとして皆さんがまずイメージするのがこの品種ではないでしょうか。また、新川千本桜で最初に植えられたのもこのソメイヨシノです。



2 陽光

3月中旬～3月下旬に見ごろを迎え、主に八千代広域公園から八千代橋の間に植えられています。アマギヨシノ（天城吉野）とカンヒザクラ（寒緋桜）を交配させて作られた品種で、自然にできたものではありません。花の色は紫がかった濃いピンク色で、一輪は5枚の花びらで数輪がまとまって垂れ下がるように咲いています。

陽光は、てんぐ巣病や病害虫に比較的強い品種とされています。濃い色の花が咲きますので、ソメイヨシノとの花の色の違いをお楽しみください。



3 河津桜

2月下旬～3月上旬に見ごろを迎える早咲きの桜です。主に八千代橋から新阿宗橋の間に植えられている品種です。新川千本桜の中では本数が一番多く約700本が植えられています。道の駅やちよ付近でライトアップが行われていた品種がこちらです。

カンヒザクラ（寒緋桜）とオオシマザクラ（大島桜）が自然に交配されてできたと考えられています。1950年代に静岡県河津町の民家に植えられたことから河津桜と呼ばれるようになったようです。

花の色は薄紅色で、一輪は5枚の花びらでソメイヨシノよりも大きな花が咲きます。

河津桜の見ごろが終わり、この後、ソメイヨシノ、陽光が見ごろを迎えます。グラデーションに咲いていく桜を是非ご覧ください。



新川千本桜の最新の開花状況を市観光推進室ホームページで随時公開しています。右のコードからご覧ください。また、交通渋滞防止のため、新川千本桜へのご来場は、なるべく電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



▲市観光推進室

新川千本桜は、ボランティア団体新川千本桜の会により、桜の周辺の草刈りや定期的なごみ拾いなどの管理がなされています。

また、毎年お正月に市役所など公共施設で飾っている桜の枝も同会に準備していただいたものです。新川千本桜の会への参加を希望される人は、公園緑地課までご連絡ください。

広告